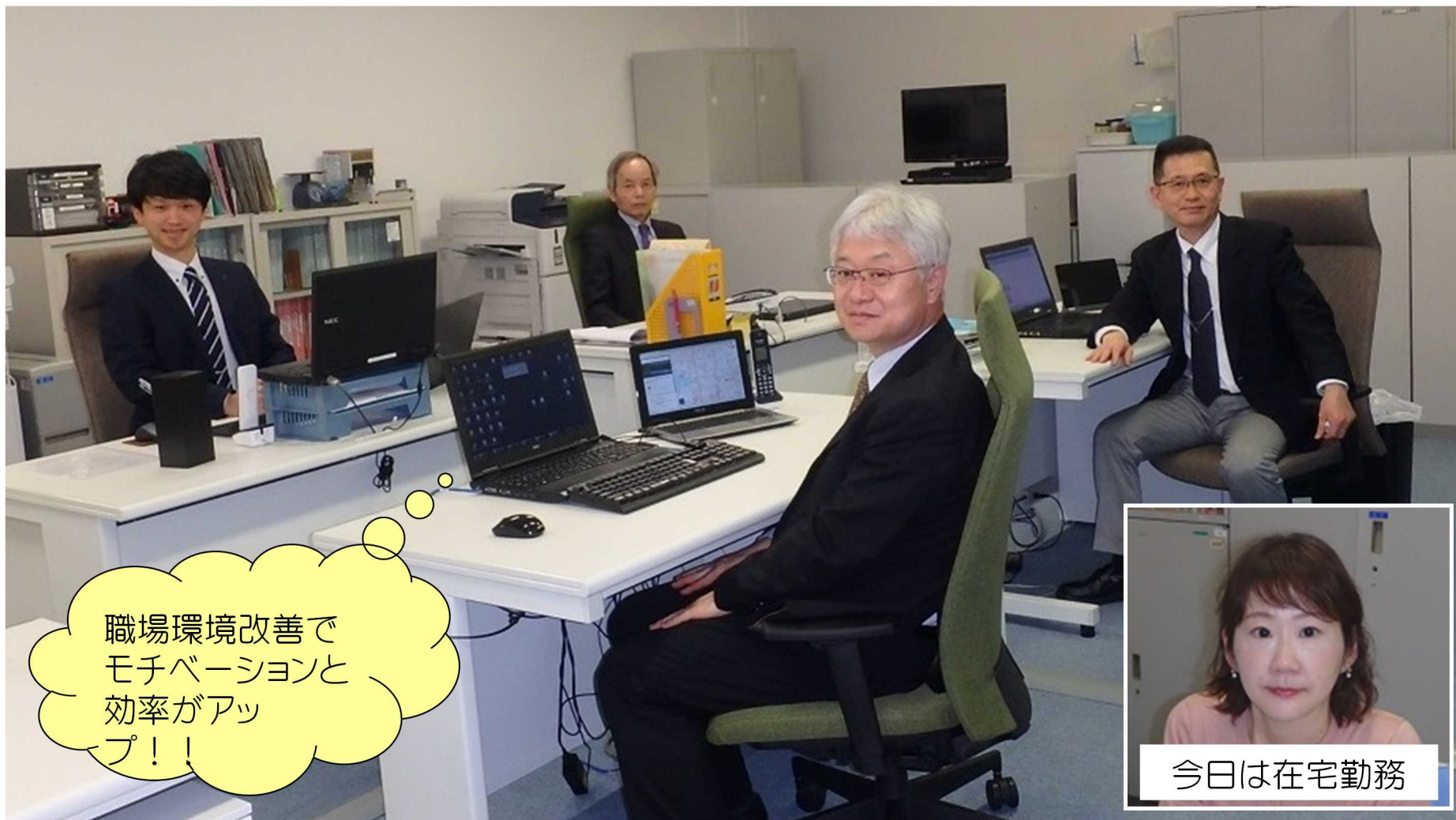


ワークプレイス改善の取組

ふじのくに領事館(大阪事務所)



職場環境改善で
モチベーションと
効率がアッ
プ!!

今日は在宅勤務

実施前の施設の現状①

(1)立地と外観

- ①「外部に面するガラス部分をパネルで閉鎖し、外からは事務所内が全く見えない。
- ②「静岡県大阪事務所」の表示が非常に小さく、存在感やPR効果がない。



実施前の施設の現状②

(2)室内

- ①窓際等に設置されたパネルで外光が入らず、室内全体が暗く、風通しが悪い。
- ②「一般来所者への対応」が考慮されたスペースとなっていない。
- ③事務用什器等の高さ・配置への考慮が不足し「雑然とした空間」になっている。



閉鎖的で内向的な印象・・・



お客様をお迎えする空間とは思えない・・・



実施前の施設の現状③

(3)電話・電気配線

- ①使用している線と機能廃止した線が混在し、配線管理が出来ていない。
- ②床から出た配線が、カバーもなく敷設され、踏みつけて断線させる危険性がある。

切りっぱなしの線が
そのまま露出



配線類の安全管理が
出来ていない！
なぜこんな状態に…



配線が、カバーなし
(剥出し)で敷設



仮設現場のような
剥き出しの配線



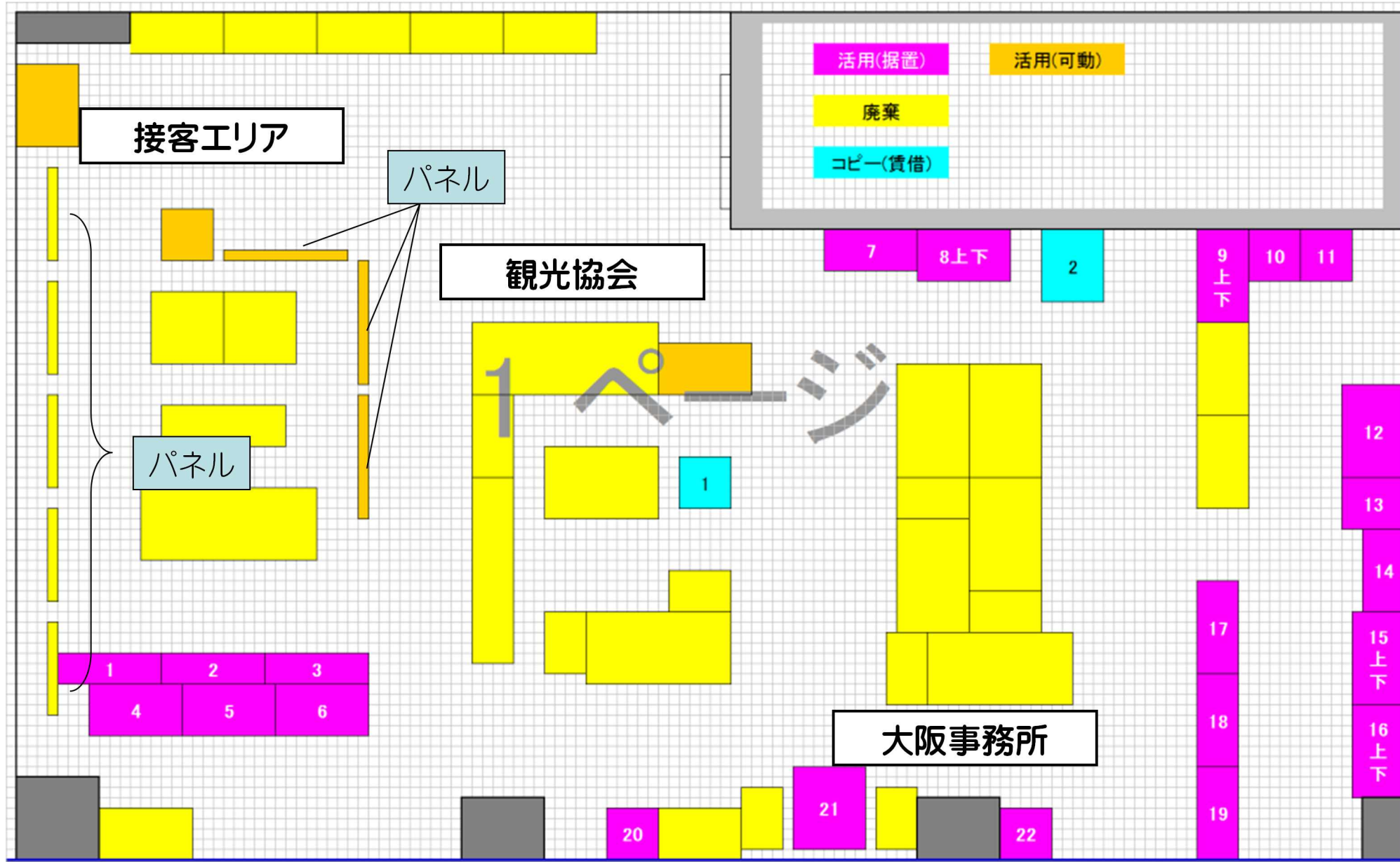
机の間は、各種配線が
未整理のまま敷設

新レイアウトのコンセプト

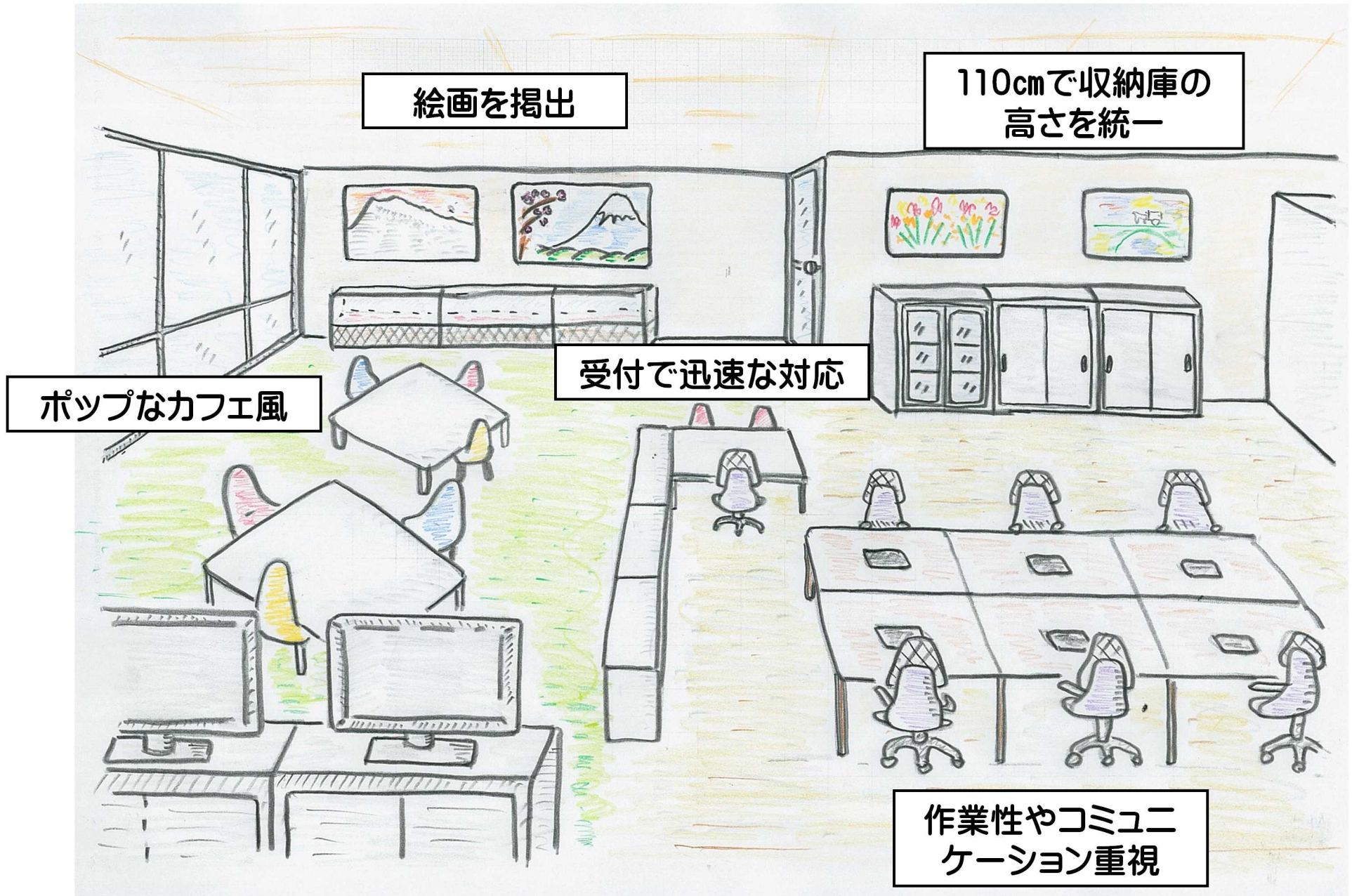
課題	コンセプト	課題への対応
関西における窓口としての「ふじのくに領事館」に適した外観でない。	「利用者(来所者)にわかりやすく」、「清潔感(品格)のある」外観にする。	<ul style="list-style-type: none">● 街路側ガラス部分のパネルは撤去し、外から事務所内が見通せる、開かれた領事館にする。● 外から大阪事務所とわかる「わかりやすい表記」又は「室内装飾」等を工夫する。
一般相談者をお迎えし、安心して交流(相談)して頂くための配慮が不足。	来所した「一般相談者」、その他のお客様が、心地良く安心して交流や相談が出来る室内空間を整備	<ul style="list-style-type: none">● お客様が利用する「来客ゾーン」を設置する。● 明るいカフェ風のテーブル・椅子を設置する。● 入り口近くに、当番制での相談対応者を配置する。
新鮮なアイデアや活発な意見交換を喚起する職場環境でない。	職員が「新規のアイデア」や「活発な意見交換」を行い、業務に前向きに取り組める職場環境にする。	<ul style="list-style-type: none">● 来客ゾーンと執務室ゾーンを設置する。(カーペットの色分けによるゾーニング)● 什器の高さを基本110cmとし、室内に統一感を持たせ、圧迫感を軽減する。● 作業性の高い机や長時間座っても疲れにくい椅子に変更する。● 「壁」に修景用の絵画等を掲出する。

※ 「基本的な安全対策」として、室内の電気・電話配線類を整理する。

改善前レイアウト



レイアウトイメージ



新オフィス(2月16日完成！)

関西地域における情報発信・調整窓口に
相応しい機能と明るい職場環境になりました！



明るく開かれた外観



来客対応はこちらで

緑



青

基本高110cmで統一⇒室内はスッキリかつ安全に